

東日本大震災による災害救援についての要望書

2011 年 3 月 18 日

流山市長 井崎義治 様

日本共産党流山市震災対策本部

乾 紳一郎

高野 とも

小田桐たかし

徳増 きよ子

植田 和子

3 月 11 日に発生した地震とその後の津波、原発被害は、わが国の歴史上かつてない大きな被害を及ぼしています。

わが党は、この歴史的な危機にあたって、地震発生の直後から様々な活動を展開してきました。さらに、14 日には「震災対策について」の申し入れをおこない、予算委員会では、12 日に解散した流山市震災対策本部の再組織を提起し、取り組みの強化を求めました。

いま、重要なことは、11 日の大地震による被害から市民生活を守るための支援を強め、余震や停電、原発事故による放射線被害などで広がる市民の不安を取り除くことです。さらに、姉妹都市福島県相馬市など被災地への救援、避難してきた方々への支援など、救援活動に流山市あげて取り組むことです。これまでに、寄せられた市民の意見、要望を集約し、以下に 5 点につき要望します。

1. 広報活動を強化すること
2. お米やトイレットペーパー、ガソリンなどの欠乏について実態を調査するとともに、関係業界に協力を求めること
3. 被災地からの避難者の受け入れ態勢を強化すること
4. 相馬市など被災地への支援活動を強化すること
5. 被災者支援にむけ医師会など関係機関との連携を強化すること
6. 市内の放射能濃度を把握し、正確な情報を提供すること

以上